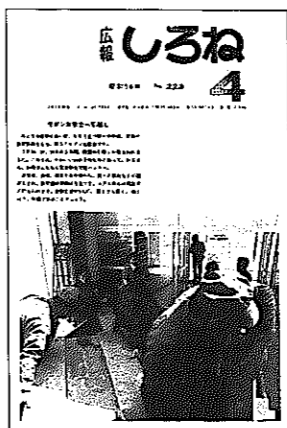


広報しろねはいつまでも市民のつとめ

●タブロイド判からA4判へ

昭和五十四年四月一日(第三三三号)

より「親しまれる広報紙」を目指し、この号から現在のA4判へと姿を変えました。平均八ページと紙面を増やし、まちの話題など身近な情報を親しみやすい表現で掲載しています。また写真やイラストなどもふんだんに使われるようになりました。



●平成5年

全国広報コンクール

広報紙市部

特選受賞

賞状

特選

広報紙市部

新潟県白根市役

貴市は社団法人日本広報協会主催による平成五年全国広報コンクール当該部門において最優秀の成績を収められたのでこれを賞します

平成六年八月二十四日

自治大臣 野中広務



平成五年十月一日(第四五五号)
特集/夢のある農業を目指す

この号では、当時全国初の組織であった「農業法人会」を特集。折しも、コメ市場部分開放をはじめ、冷夏による不作や後継者不足などで農業を取り巻く情勢は非常に厳しかった時代でした。そんな中でも、決して農業の夢を捨てず、法人化してたくましく生き残ろうと頑張っていた白根の農家。この特集では、「その人たちを通して、農業のすばらしさを訴えたかった」。

と当時担当者は話しています。この賞は、広報担当者の頑張りのおかげで得られたものではありません。夢に向かって頑張っていた市民がいたからこそ、すばらしい企画を組むことができたのです。試行錯誤しながらも新たな第一歩を踏み出した白根市民の姿が、審査員の心をとらえたのではないのでしょうか。



夢のある白根市農業を語る

●平成16年 全国広報コンクール

組み写真の部入選3席

平成十五年七月一日(第六四三号)



この号では、全国に誇る白根市最大のイベント、白根大風合戦の様子を組み写真で掲載しています。歴史と伝統ある祭りです。この題材が全国広報コンクールで審査員の目に留まったことが、何よりの喜びでした。皆さんの豊かな表情や迫力、熱い思いをレンズに収めることができ、「白根大風合戦ここにあり」と全国にアピールすることができました。

●ご紹介した広報紙も収録されています 広報しろね縮刷版予約受付中!●

市では合併を記念して、「広報しろね縮刷版第6巻」を発売。平成12年1月号から17年3月最終号までを収録しています。

過去に発行した1巻から5巻も若干の残部があります。もちろん、ここでご紹介した号も収録されています。この機会にぜひお求めください!

■価格 3000円 ※縮刷版に納付書を添えてお届けします ■配布予定時期 3月中旬 ■申込方法 市役所企画財政課、各生活センターにある申込書に、住所、氏名、電話番号、必要冊数を記入。電話、FAX、Eメールでも可 ■送料 郵送希望の場合は本人負担となります ■過去の縮刷版 1~3巻セット(9500円)、4・5巻セット(6000円) ※若干の残部があります

●新聞未購読世帯はご連絡を●

広報しろねは今号で終了し、今後は「市報にいがた」を毎週日曜日に新聞折り込みで配布します。また白根支所では毎月第1日曜日に新聞折り込みで「しろね支所だより」を配布します。

★折り込まれる新聞

…日報、朝日、毎日、読売、産経

*両紙とも、白根支所、白根学習館、各生活センターなどに設置するほか、新潟市ホームページにも掲載されますが、新聞未購読世帯で郵送を希望する場合は、住所・氏名・世帯主・電話番号をお知らせください。

■問い合わせ・申込先 企画財政課広報コミュニティ係 ☎332、333 Eメールkikaku@city.shirone.niigata.jp

変わらぬもの 変わらぬもの

合併後、広報しろねはタブロイド判の「市報にいがた」に引き継がれます。また白根支所管内の皆さんには「しろね支所だより」もお届けします。

「しろね支所だより」は、これまで皆さんが慣れ親しんできた「広報しろね」のようなA4判の形から、タブロイド判となります。広報しろねの原点である、創刊号「市政だより」と再び同じ形になり、皆さんのもとに届けられます。

名称や形態、内容は、時代の流れとともに変わっていきます。しかし、これからもずっと変わらないのは、広報紙は「市民と市政の架け橋」であり続けるということです。